

その場所に立って懐かしさを感じた時
今の自分になることを思う
会うべき人が先にいる
私は踊り手となって、人間となる

舞踏公演

田村一行

大駱駝艦

存在と時間

国立市市制施行30周年記念
くにたち文化・スポーツ振興財団創立30周年記念

平成29年 12月24日(日)

開演14:00 (開場:13:30)

終演後、田村一行によるアフタートークがあります(20分程度)

全席自由 一般2,500円 / 学生1,000円

※未成年者 入場不可 ※団体割引あり ※くにたちポイント適用あり

会場 くにたち市民芸術小ホール

チケット発売開始 10月10日(火)

主催 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団
<http://www.kudaizan.com/>

共催 一般財団法人地域創造(平成29年度公共ホール活性化ダンス活性化事業)

お問合せ くにたち市民芸術小ホール TEL:042-574-1515

★12月21日(木) ワークショップ開催! 詳細は裏面をご覧ください

振付・演出・美術: 田村一行

出演(大駱駝艦): 田村一行/ 鈴木奈緒美/ 藤本 梓

テクニカルスタッフ(大駱駝艦): 谷口 舞

写真: 大倉 利博

撮影協力: 朝明中学校・朝明高等学校

イラストレーション: 前田 大志 (D-TAP)

舞踏カンパニー「大駱駝艦」の舞踏手 田村一行が、所縁の地・国立に登場。
国立の様々な文化や風景から着想を得た新作公演。

田村一行

PROFILE

桐朋中・高等学校を経て日本大学芸術学部卒。1998年大駱駝艦に入艦。舞踏家・俳優である磨赤児に師事。

02年より自らの振付・演出作品の創作を開始。緻密な振付で構成する作品には、新たな舞踏の可能性があると注目されている。08年文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。小野寺修二、宮本亜門、白井晃、渡辺えり、笠井淑、ジョセフ・ナジの舞台など客演も多数。舞踏の特性を活かしたワークショップは、各分野のアーティストのみならず、子供から高齢者まで幅広く好評を得ている。

平成23年より地域創造現代ダンス活性化事業登録アーティスト。第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。

大駱駝艦オフィシャルホームページ：
<http://www.dairakudakan.com>

舞踏とは

1950年代に日本で生まれた踊りの一つです。大駱駝艦は1972年、磨赤児によって旗揚げされ、以来「舞踏界」を牽引してきました。白塗り・刺繍・裸体などの外見的特徴がインパクトを与えますが、その根本にある、個人ならではの肉体と向き合う方法や、根源的な背景へアプローチしていくという考え方は、広く芸術の世界に通底し、幅広いジャンルの人々に影響を与え続けてきました。世界各国から注目される、日本を代表する舞台芸術の一つです。

ワークショップ

大駱駝艦の“舞踏”を体験しよう！

踊り・表現・芸術はどのような時に、どのように生まれているのか。いつもと違う発想で、自分やそれを取り巻く周囲の世界を見つめてみましょう。

舞踏カンパニー「大駱駝艦」の基本体操は、フニャフニャ体をゆすったり、ビビビ体を震わせたり…。アザを抜くことから始めると、頭も体も驚くほど自由になってゆきます。自分で「動く」のではなく「動かされる」。非日常のちょっぴり不思議な世界を体験し、楽しく体を動かしながら、自分ならではの動き・踊りを見つけてみましょう。どなたでも大歓迎です！

平成29年12月21日(木) 19:00~21:30

会場：ホール

対象：中学生以上 / 定員：25名 ※動きやすい格好で。シューズ不要。

参加費：500円

申込：11月14日(火)から受付、電話または窓口へ。先着順。12月15日(金)締切。

公演チケット
取扱い

荻小ホール窓口 042-574-1515
(株)しまだ文具店 042-576-4445
白十字国立南口店 042-572-0416



※くにたちポイントの利用、団体割引の取扱いはいずれも荻小ホール窓口のみです。

Confetti 0120-210-540 (平日10時~18時)
カンフェティ <http://confetti-web.com>



〒186-0003 東京都国立市富士見台 2-48-1

- JR中央線国立駅南口バス乗場：4番 立川バス矢川駅、国立停車場または国立皇岡地行「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車徒歩1分
- JR南武線矢川駅または谷保駅から徒歩10分
- ★専用駐車場はありません。公共の交通機関でお越しください。

お問合せ

くにたち市民芸術小ホール TEL: 042-574-1515 E-mail: kugeisyo@chive.ocn.ne.jp